

寺井病院グループだよ

寺井病院 地域連携室発行 923-1121能美市寺井町ウ84

TEL 0761-58-5500 FAX 0761-58-6015

<http://terai-hospital.jp/>

新年を迎えて

「新年おめでとうございます」とのんびりと構えてはいられないコロナ禍の続いている2021年となりました。地域で感染事例が報告されるたびに、明日は我が身と思いつつ、PPEの緒をしめている毎日です。

寺井病院グループではすべての事業所をあげて、在宅・外来・入院での慢性期医療をきれめなく提供し、かかりつけ医機能を果たしつつ、地域の方々が安心して健康に暮らすことが出来るように心をつくしていきたいと考えています。

持続可能な制度のためにはであるとか、「全世代型社会保障」の実現の名のもとに、高齢者医療費の一部負担の引き上げや病床数の削減といった動きがあります。今こそ、多くの医療人、そして地域の方々との連帯が求められると考えています。今年もよろしく願いいたします。

私たちのめざすもの

患者・利用者に寄りそい、患者・利用者とともに困難に立ち向かいます。

専門性を高め地域に信頼される質の高い医療・介護を実践します



病院長 島 隆雄

当院病棟のご紹介

当院は医療療養型病床1病棟のみで、原則として急性期加療後の慢性期の方が対象ですが、当院グループの医療・介護サービス利用者様の急性期治療も行っております。

この数年、経口摂取困難となった方の末梢補液での看取り、癌や心不全終末期の緩和ケアなど、他医療機関様からの紹介入院が増えておりこの場を借りて御礼申し上げます。

当病棟が特に力を入れているのは、長期の人工透析管理、末期呼吸不全の緩和ケア、経口摂取の追求です。状態悪化により通院困難な方の長期透析を積極的に受け入れております。挿管・気管切開下での人工呼吸管理は現在行っておりませんが、マスクによる人工呼吸（NPPV）や高流量酸素療法と積極的な麻薬使用による緩和ケアを行っております。嚥下機能や嗜好に応じ、経管栄養と併用するなど、その時々状態に即した食事を提供し、少しでも口から食べていただくことを追求しております。

また、患者・家族様のご要望があれば、疾患にかかわらず終末期であっても外泊や短期退院を在宅医療部門との連携で実施しております。



副院長 中内義幸

患者様の思いに寄り添い、支えることのできる看護・介護を目指して、日々奮闘しております



自治体キャラバンに参加して

2020年10月から11月にかけて石川県社会保障推進協議会による自治体キャラバンがありました。自治体キャラバンとは、県内のすべての自治体を訪問し、各市町に対し、医療・福祉・介護など社会保障の充実と、国や県に意見書の提出を求めて要請する行動です。私は南加賀地区4自治体との懇談に参加しました。



能美市においては、国民健康保険の運用で前進がありました。

これまで、能美市では国保税滞納者に対して、有効期間が1か月や3か月の短期資格者証が交付される場合もありましたが、これが廃止されました。

短期資格者証は少なくとも6か月有効期間のものが交付されます。国保税滞納者には限度額認定証は交付されませんでした。保険料の分納相談に応じるなどの条件で交付されることになりました。

南加賀の自治体には、外来透析患者さんの交通費のことで相談を受けることが多かったため、透析患者さんへの交通費の助成制度ができないかを要望しました。

日頃、患者さんとの相談の中で「これはちょっと困ったな」と感じる場合があります。完全な制度というものはないので、「こんなふうになったらいいな」の患者さんの想いを自治体に伝え、患者さんの安心につなげられるように声を上げていこうと思います。

医療ソーシャルワーカー 新 栄治

<医療ソーシャルワーカーにお気軽にご相談ください！>

当院では経済的な理由で医療にかかる機会が奪われないように無料又は低額で診療を受けることできる無料低額診療事業を行っています。対象は非課税世帯であるなど医療費の支払い困難な低所得者です。詳細は当病院医療ソーシャルワーカーにご相談下さい。

院内学習会／ケア編



12月は「認知症ケア」、「皮膚損傷予防と管理」、「患者の立場になってみる」、など日々のケアにおける課題を中心に学習会を行いました。

「認知症ケアでは大切なのは受け止めること」「その人ひとりひとりにあったケアについて話し合い、工夫していきたい」などケアで共通する大事なポイントが感想として聞かれ成果を感じています。

学習と実践を繰り返し、患者さまの思いに沿ったより良いケアにつなげていきたいと思っています。



全職員研修会



年1回、石川民医連に属する事業所は、経営から社会保障と幅広いテーマで合同研修会を行っています。

今年のテーマは「今こそ、つながる力を大きく～いのちと人権を守り抜く民医連の役割～」でした。

コロナ下で初のオンライン開催となりましたが、医療を取り巻く情勢や今後の方針など、学びと確信を深める機会となりました。